

三洋化成、JAL機に木粉を含んだ合成皮革 期間限定提供

2025/2/25 20:09 | 日本経済新聞 電子版

三洋化成工業は25日、木粉を配合した環境に優しい合成皮革「モックテックス」が、日本航空（JAL）の米ハワイ・ホノルル発着便の一つの機体にヘッドレストカバーとして約2週間限定で採用されたと発表した。石油由来の原料を減らせるほか、未利用の間伐材を使うことで国内の森林保全につながる。三洋化成は耐久性や使い心地をアピールし、将来的な本格導入を目指す。

環境イベントの一環として3月1日から15日まで使われる。表地には木粉を35%ほど含み、ほんのりと木の香りがするほか、本革と同じような消臭効果や通気性を持つという。

木粉を含んだ合成皮革は2022年に三洋化成の子会社が開発した。一般的な合成皮革と比べて高価だが、家具や雑貨メーカーなど数十社から問い合わせがあるという。木粉のほか植物由来のポリウレタン樹脂なども使い、最大80%がバイオマス資源で作られている。26年春ごろの量産化を見込む。



本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.